

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護大島
所在地	(〒 940-2104) 長岡市大島町字谷内甲 1161 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当事業所では、『介護が必要になった場合でも地域を離れることなく、自宅で暮らし続けていける』ことを理念としてサービスを提供しており、以下のような特徴があります。1つめは、看護小規模多機能型居宅介護であるため、医療ニーズのある方を中心に受け入れをさせていただいています。2つめは、平均要介護度の高さです。当事業所のご利用者の平均要介護度は現在 3.3 であり、比較的中重度の方が多く看取りの方の受け入れもさせていただいています。そのため職員一人ひとりの高い専門性が求められ、日々研修や勉強会を通して研鑽を積んでおり、本来の理念である「中重度要介護者を在宅で支えられる仕組みづくり」の実践に取り組んでいます。3つめは、ご利用者の馴染みの暮らしを一番に考えている点です。元々馴染みがあって且つ、生活圏域から出ない範囲として、登録ご利用者のお住まいから約 2km 圏内で密着したサービスを行っております。事業所が近くにあることにより、ご利用者の急な状況変化やご家族の急な用事の際などに臨機応変にサービスを組み替えられ、柔軟な対応が可能です。ご利用者やご家族の生活を総合的にサポートするために、事業所だけでなく、地域や医療・行政など関係機関と連携・調整を行い、地域包括ケアの視点に立って取り組んでいます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 12 月 29 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 2 月 16 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人)			

	<input type="checkbox"/> 利用者（ 0人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（ 0人） <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者（ 2人） <input type="checkbox"/> その他（ 0人）
--	---

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		防犯対策の一つとしてダミーカメラの設置を行う。また、独居高齢者や老々世帯の利用者へ向けた情報発信をし、防犯意識を高めていただけるよう働きかけていく。	防犯に関する学習会を実施。ダミーカメラについては協議ができていない。利用者宅へ特殊詐欺と思われる入電があったことを確認したため、特殊詐欺に関する情報提供を他の利用者にも行う。	利用者宅（独居者）についても防犯、特殊詐欺対策をしていく必要がある。カメラを設置されている方もいるが、利用者一人ひとりの状況に応じた対応策について検討を進めていきたい。 →2023.1 に宿泊希望者がいない日があり、夜間防犯対策としてダミーカメラを設置。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	策定なし		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	介護職員のカンファレンス参加。	感染対策としてカンファレンスの開催が実施できなかったこと、人数制限があり介護職員が参加できないこともあった。 (事業所の都合、人員不足なども含めて) そのような場合はケアマネの初回訪問や退院直後に同行訪問するよう工夫している。	左記に記載したように介護職員の参加を基本としつつ、参加ができない場合については、それに代わる対応をしっかりと行う。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	管理者・介護支援専門員以外の職員が町内行事や運営推進会議に関りを持ち、地域包括ケアシステムを担う人材の一人として自覚できるよう機会を設けていく。	今年度も運営推進会議(対面で1回開催)では介護職員の参加はなかった。町内のクリーン作戦、公園の除草作業には交代で参加。	次年度も様々な地域活動に順番で職員が携わるように調整し、職員一人ひとりが地域との関りを大切にしていく。
III. 結果評価 (評価項目 42~44)		策定なし		

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		【番号9】 電子記録に移行したことで、それに関する事故を防止するために留意点や入力方法などをまとめたマニュアルを作成していき、今年度中には形にし、次年度の運用に繋げていきたい。	留意点や入力方法などをまとめたマニュアルの作成と見直しを行う。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	策定なし	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	【番号31】 インフォーマルサービスについて利用者や家族への紹介、調整を随時行っていたり、なかには近隣の方や友人にお願いしているケースもあるが、運営推進会議のなかでは今年度は情報提供が行えていない。次年度は運営推進会議内においてケース検討など行えるよう調整したい。	運営推進会議内においてケース検討を実施し、包括的なサポートについて助言をいただく機会を設ける。

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>【番号 37】 わたしの「望むくらし」の作製について、終末期を自宅で過ごすことも状態によっては可能であることを、また、当事業所でもお手伝いができることを知ってもらいたいと考えたのがきっかけ。終末期の過ごし方に関する傾向を掴みやすくするために次年度は統計をとってみたい。</p>	<p>わたしの「望むくらし」の再配布と統計調査の実施。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>策定なし</p>		

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します。

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<p>・①～⑤に沿った理念を掲げており、それに沿った看護小規模多機能の特色や強みを生かした支援・関わり方ができていると思います。</p> <p>・介護、見守りだけでなく医療ニーズの高い利用者への理解や対応スキルが高く、その理念が明確に行動化できているように感じる。</p> <p>・去年11月に脳トレやリハビリなどの強化月間を実施されたと思いますが、その取り組みが在宅生活維持に繋がると感じました。</p> <p>来年度の取り組みや経過報告を楽しみにしています。</p> <p>↓</p> <p>引き続きサービスの特性を</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				<p>理解しながら、様々な状況に応じることができるよう多職種・他機関との連携、自己研鑽に努めていきたい。</p> <p>また、センターでの活動だけでなく、在宅生活の維持に繋がるような関わりを継続していく。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人、事業所の理念を理解し、一人ひとりが役割を認識し対応できている。 ・複合型サービスについても研修や日々の関りのなかで新人、異動職員も理解を深めてもらった。 				<p>・番号1同様</p> <p>・定期的な会議で見かける様子や、他機関職員として利用相談をした際にも職員一人ひとりが役割を理解し十分に対応できているように感じた。</p> <p>↓</p> <p>今後も全職員が実践することができるよう異動時や入職時の研修や伝達をしっかりと行いたい。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○				<p>・定期的な面接や日々の業務を通じての専門技術の向上や職員育成を続けてほしい。</p> <p>↓</p> <p>法人で定めているもの以外にも必要と感ずることがあれば随時面談の機会を設け、確認をしながら計画を進めていきたい。(目標の見直しも含めて)</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<p>・外部研修については、機会も限られるため、参加できなかったことについては致し方なかったと考えます。</p> <p>代替案として、計画にないものであっても周知・参加を図っていることはよい取り組みだと感じました。</p> <p>・感染症対策が続く状況での外部研修は限られていると思うが、今後も状況に応じて</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>参加の機会を検討していく と良いと思う。</p> <p>↓</p> <p>職員それぞれに期待するこ とに対し、必要と判断した研 修を積極的に受講してもら うよう調整していく。</p>	
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				<p>・毎日のミーティングやノートの活用のほか、ICT化によって、事業所内部・外部いずれにおいてもタイムリーな情報共有・確認が可能な体制が構築されており、質の高いケアの提供につながると感じました。</p> <p>・いつも職員間の情報共有がよく出来ていると感じており、いつも心強いです。</p> <p>↓</p> <p>今後も情報共有の重要性を認識した上で、その情報をしっかりケアに繋がっていきたい。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				<p>・会議内で挙げた意見等に対して、速やかに検討・反映がされています。</p> <p>・運営推進会議ではいつも積極的な意見交換や地域の情報共有が成されていて有意義な場であると感じています。職員皆さんでの情報共有をこれからも続けていたいただきたいと思います。</p> <p>↓</p> <p>これからも有識者からの助言や地域からの声を伝え、事業所運営に活かしていきたい。</p>	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>・お互いに働き方などについて、呼びかけ・注意しあえる体制は、大変働きやすい環境だと感じます。</p> <p>特に上の立場にあたる人から広く声をかけることで、ハラスメントの抑制や時間外業務の削減につながっていると感じました。</p> <p>・感染症対策が今後もしばらくの間続くことが予測されます。引き続き、職員が安心して、その人らしく働くことができる環境整備に努めていただけると良いと思います。</p> <p>↓</p> <p>適切な労務管理、NO ハラスメントを続け、「ここで働いてみたい」「ここなら続けられる」と思えるような職場風土の醸造を目指していきたい。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				・番号5と同様。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		・番号5同様。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				・日頃から事故・ヒヤリハットの情報共有と改善策の検討が迅速に行われ、重大な事故の防止に努められています。 ・電子記録の保護に関しては、ソフト面・ハード面の双方の視点から検討・対策を行ってください。 ・運営推進会議においてヒヤリハットと事故の報告がされていますがきめ細かく報告されていて良いと思います。地域、環境に即した事故	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		・事故、ヒヤリハットの共有、対応策については当日中に検討、実施していくことを原則としている。 ・また、交通安全については対面で運営推進会議が実施した時の意見をまとめ注意喚起を促した。 ・記録を電子記録に移行したことで個人情報保護の留意点も変わったことから、引き続き高い意識を持って取り組んでいきたい。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>防止対応を今後も続けてい ってください。</p> <p>・運営推進会議の報告を通じ て、事故が起きた際、振り返 りや課題検討をしっかりと行 い、改善策を共有出来ている ことが、確認出来ます。今後 も、安全な対応を宜しくお願 い致します。</p> <p>↓</p> <p>電子記録に移行したことで、 それに関する事故を防止す るために留意点や入力方法 などをまとめたマニュアル を作成していき、今年度中 には形にし、次年度の運用に繋 げていきたい。</p> <p>また、引き続き事故0を目指 して平時からの備え（ヒヤリ ハットの分析や迅速な情報 共有など）をしっかりと行っ ていきたい。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				<p>・有事において、訓練や対応方針に沿った対応が実践できており、日頃の体制整備等が十分にできていると感じます。</p> <p>方針等に関しては適宜見直しを実施いただき、より実践的なものになるよう努めていただきたいです。</p> <p>・前項にも共通しますが、地域および環境に即した柔軟な対応に頭が下がります。職員自身の安心・安全も十分に確保しながら今後も継続していただければと思います。</p> <p>・自己評価の通り、適切に行われていると感じます。緊急時に臨機応変に対応出来ることは、ご利用者や家族の安心にも繋がるので素晴らしいと思いました。</p> <p>↓</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・水害や雪害、感染症を想定したシミュレーション訓練を実施。実際に12月の雪害時には訓練を活かした事業運営ができた。利用者、職員の安全を守る観点からも通いと泊まりを中止し、訪問中心の形態へ変更。また、民間の宅配弁当を利用されている方もおり、それぞれ配送状況を確認しながらこちらで食事を手配し届けること。独居者宅を回り、家屋に損害がないか、停電していないか、(電話が通じているか)、水道は使用できているかなどの確認をし、遠方の家族へ状況報告するなどの対応に努めた。</p> <p>・今年度も法人及びこぶし園全体で災害時安否確認システムの配信、報告訓練を定期的実施。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						利用者・家族の安心に繋がるよう訓練や情報収集を重ね、有事の際には行政や地域と連携しながら迅速に対応していけるよう準備したい。	
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族に限らず、地域の方からの声など、多角的な視点からの情報収集に努められています。 ・今後も利用者本人・家族とも相談し個人情報の管理に留意しながら周囲の関係者とも協力し、十分なアセスメントに努めてください。 <p>↓</p> 24 時間連続した暮らしに着目したアセスメントを心	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						掛け、職員間でも情報共有 に努めたい。	
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				<p>・漏れや認識誤りなく情報共有できるように工夫されています。</p> <p>・いつも介護職と看護職の情報共有が十分に行なえている感じが感じ取れます。今後もそれぞれの強みを生かしてより良いアセスメントを続けてください。</p> <p>↓ 番号 11 と同様。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	○				<p>・今後も利用者のみならず、家族の考え等も尊重した計画作成に努めてください。</p> <p>・本人、家族の意向を汲んだ計画作成と無理のない目標達成を続けていってください。</p> <p>↓ 家族の考え、想いも含めたプランニングを心掛けた</p>	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				<p>い。</p> <p>・得た情報を基に、その人らしさを意識したプランニングに努められています。</p> <p>・利用者の今までの生活、変えられない習慣などに寄り添って柔軟なプランニングができているように感じます。</p> <p>・本人の生活を制限することなく、いままでの生活や暮らし方を活かしたプランニングをされているなど感じています。今後もぜひ続けていってください。</p> <p>↓ 残存機能や生活歴、家族の介護力なども考慮しながら作成したい。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・これまでの生活、暮らし方を意識したプランニングを心掛け、一人ひとりのQOLの維持、向上を目指している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	○				<p>・得た情報を随時共有され、介護・看護が一体的に提供されるよう調整されています。</p> <p>・看護職だけでなく、介護職も含め各職種間での意見交換は今後も必須であると感じます。</p> <p>↓</p> <p>相互の意見をしっかり反映させた計画となるようにしていきたい。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				<p>・計画だけにとらわれず、実際に利用者に関わる中での気づきを大切にアセスメントを続けていってください。その上で多職種や多事業所との連携を深めよりよいサービス提供を継続してください。</p> <p>↓</p> <p>番号15と同様。</p>	<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				<p>・周辺状況に起因するもののほか、臨時的な対応等、看多機の強みが活かされた柔軟な調整がされていると感じます。</p> <p>・看護小規模多機能型居宅介護の強みでもありますが、以前から柔軟なサービス対応は貴施設の大きな強みであると感じています。</p> <p>↓</p> <p>サービスの特性を活かしたマネジメントを継続し、また、体調や生活状況の変化を察知しながら、状況によってはこちらからサービス変更の提案もさせていただくようにする。(家族が抱え込まないように)</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				<p>・ツールの活用や手法の工夫により、関係機関との情報連携が図られています。</p> <p>・日常生活上だけでなく、受診や入院時など必要時に医療機関との連携が十分に取れていると感じます。</p> <p>↓</p> <p>治療内容や本人・家族の治療に対する考え方、意向などを関係者間で共有し、ケアの方向性に違いのないようにしていく。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				<p>・番号15と同様 状況に応じたサービスの調整が図られ、提供されていると感じます。</p> <p>・介護職と看護職が両者で対応できることは大きな安心に繋がると思います。今後も利用者や家族の満足度や意</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						見交換の場などを持ちながらサービス提供を続けてください。 ・職員の情報共有・連携により利用者のニーズに柔軟に対応されていると思います。 ↓ 介護・看護が協働しニーズの把握と専門性の高いケアを提供できるよう引き続き努めていきたい。また、サービス側が全て行うのではなく、本人・家族の出来ることは行っていただくことを原則としながら、十分なアセスメントに基づき役割分担の判断をしていく。	応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				・番号5同様。 ・番号19と同様 ↓ 番号19と同様。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・番号5同様。 ・対応策も当日中に検討し実施することを原則としている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				<p>・医療ニーズが高い利用者に関わる中で、利用者自身の維持回復はもちろんであるが介護職員が安心して業務に取り組める環境も大変に重要であると考えます。職員が安心して業務に取り組むことが利用者満足度にも繋がると思いますので今後も続けていってください。</p> <p>↓</p> <p>それぞれの専門性を活かした関わりが相互に持たれ、安心して就労できる環境を引き続き整備していきたい。</p>	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・その時の病態に応じた対応策や症状の見極めなど随時看護師から情報提供がされ、介護職員が安心して援助が行える環境である。</p> <p>・夜間など看護師が不在となる時間帯においても、緊急時などいつでも連絡を取ることが可能であり、決して看護職員に甘えるわけではないが、介護職員の安心に繋がっている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>・一度の説明で全てを理解いただくことは、大変困難だと思います。</p> <p>今後も、実施されている随時説明の継続のほか、疑問があった時は、いつでも質問を受け付けていることの周知も継続し、利用者等の理解促進に努めてください。</p> <p>・必要時、他機関(病院など)に出向いての説明もしていただき大変感謝しています。説明としての理解度があいまいでも、日々の関わりの中で趣旨・特徴は伝わっているように感じます。</p> <p>↓</p> <p>状況に応じて随時お伝えしつつ、ご家族からも質問しやすい環境、こちらからも確認をすることを心掛けながら関わっていく。</p>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族の理解度に合わせた対応は今後更に必要となってくるように感じます。継続をお願いいたします。 ↓ 対象者によって伝え方を工夫し、理解が深まるよう努力していく。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・場合によってはその方の理解度に応じた援助内容な療養上のポイントなどを文書化し、お渡ししているケースも複数ある。 					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族の状態や気持ちに寄り添った専門的なアドバイスやケアの提供ができており、利用者・家族の安心や理解に繋がっていると考えます。 ・退院後も看護職からのフォローが受けられることは大きな安心と家族の自信にも繋がっていると思います。 ↓ 適切な情報提供、専門的ケアが提供できるよう研鑽に努めていく。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・退院直後や病態が不安定な時など訪問看護を追加し、家族に対して手技指導を実施したり、療養相談に乗ることで精神的ケアも図っている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの聴取や、職員皆さんが関わる中での印象も含めて折々に希望の確認をしていけると良いと思います。 ↓ 日々の関りからもヒントを得ながら、意向を把握しサービスに反映できるようコミュニケーションの機会を多く持てるよう意識していく。 	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・元気なうちから自分らしい過ごし方について相談する場を持たれることは、意識づけのきっかけになる良い取り組みだと思います。 独自の冊子を作製・活用されている点も評価できます。 ・必要に応じ、医療機関など関連機関と本人の将来を予測するために必要な情報共有を行いながら今後の相談を進めていただきたいと思います。 	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>います。</p> <p>・ ACP や地域包括ケアの観点からも今後このような検討が求められる機会が増えると思います。利用者や家族に少しずつ意識していただく機会になると思いますので今後も継続が望ましいと感じます。</p> <p>↓</p> <p>お元気なうちから考えていただきたい事柄でもあり、わたしの「望むくらし」がしっかり活用されるよう継続していきたい。</p>	
27	<p>○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している</p>	○				<p>・ 統一的な対応を継続していただき、希望に応じて随時対応いただきたいです。</p> <p>・ 項目 26 と同様。</p> <p>↓</p> <p>希望があった際にはしっかりと応えることができるよう予後予測をしながら、また、主治医から助言をいただき</p>	<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				<p>・様々な制限がある中でもカンファレンス等の方法により連携を図られています。</p> <p>退院後の様子をフィードバックされていることも、大変良い取り組みだと思いました。</p> <p>・退院後の生活を病院・施設にフィードバックすることで病院や施設職員も在宅生活をイメージすることができ今後の在宅生活を念頭においたケアができるように感じます。今後もよろしくお願ひいたします。</p> <p>↓</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						引き続きカンファレンスには積極的に参加をさせていただき、多職種での関りを意識していきたい。また、退院ケースの場合など、退院後のフォローをお願いできるようであればフェニックスネットでの連携も図っていく。	
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			<p>・病院嫌いなど様々な利用者が存在すると予測します。何かあったら受診していた医療機関を明らかにしておくなど身近なところから進めていただきたいと思います。</p> <p>↓</p> <p>緊急時の対応について受け入れ前に家族(身元保証人)と相談はさせていただくが、同時に受診歴などの情報についても整理を進めていく。</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			<p>・急変時の即座の対応については家族状況などで困難であるケースも散見されると考えます。救急当番病院や協力医療機関の連絡先などが容易に確認できる体制など、出来るところから体制を構築していきましょう。</p> <p>↓</p> <p>個別に緊急受診先を記すとともに、当番病院一覧を電話機のところに設置している。万一の場合にも慌てずに対応できるよう、平時から情報共有、周知を図っていく。</p>	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・緊急時当番病院とは別に協力医療機関を法人として定めている。</p> <p>・個別に受診先、連絡先が確保できているが、親族が遠方の方も多く、一時的に事業所職員が対応しなければならない状況も考えられる。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている				○	<p>・次年度以降の情報共有等に期待します。</p> <p>・今後、運営推進会議内での情報提供に期待します。</p> <p>↓</p> <p>次年度は運営推進会議内においてケース検討など行えるよう調整したい。</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>・様々な人が確認しやすい場に設置されており良いと思います。</p> <p>↓</p> <p>玄関フロアでの設置を継続していく。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		<p>・感染症対策との兼ね合いもある中で、でき得る活動が行われていると思います。</p> <p>・感染症の流行に合わせ柔軟に活動を進めてください。</p> <p>・地域住民の方で、オレンジカフェの再開や地域交流スペースの開放を心待ちにされている方が多くいらっしゃいます。今後も連携を図れることがありましたら、お声掛け下さい。</p> <p>↓</p> <p>感染状況に注視し、十分な対策を行った上で可能な範囲で再開に向けて動いていきたい。当事業所が地域から認識され、困った時にはお役に立てるよう地域交流の機会を大切にしていきたい。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <p>・感染拡大防止の観点からオレンジカフェは未実施。(町内回覧はしたが、直前に中止となったことが2回)</p> <p>・コミュニティセンター主催の茶話会などに参加し、医療・介護に関する情報提供をさせていただいた。</p> <p>・感染状況をみながら啓発活動を順次再開していきたい。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				<p>・大島地区だけでなく幅広い地域を対象に活動していて積極性が見て取れます。今後もそのフットワークを生かして活動を続けてください。 ↓ 今後もエリアで限定することなく、事業所以外の方の受け入れも積極的に進めていきたい。</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		<p>・たん吸引について、日中だけであっても在宅での処置を受けいれていることへの積極性を評価したいと思います。夜間については家族への指導なども含め今後も対応を検討していけると良いと感じます。 ↓</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						今年度吸引が定期的に必要な方の受け入れを行い、退院後も家族に対し手技指導を行い、また、夜間も希望があれば訪問し吸引を行うこともあった。毎日夜間帯に定期的に援助に入ることは難しくても、本人・家族が安心できる環境を整えることができるよう必要な関りをしていきたい。	
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		<p>・番号35と同様。 ↓ 番号35と同様。</p> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・番号35同様。(呼吸器＝吸引が必要) ・体制確保が困難である。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・番号26と同様 ・今後さらに件数が増えてくるケースであると感じます。利用者だけでなく、病院や施設にとっても看取り支援を一緒に考えてくれる事業所の存在は重要であると考えます。今後も継続をお願いしたいと思います。 ・「望むくらし」を取り組むきっかけがあったのでしょうか。また、差支えなければ、こちらを配布するタイミングやご利用者・ご家族の反応を教えてください。 <p>↓</p> <p>終末期を自宅で過ごすことも状態によっては可能であることを、また、当事業所でもお手伝いができることを知ってもらいたいと考えたのがきっかけ。ただ、自宅での看取りが良いことというわけではなく、そのような選</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>択肢もあることを意識して いただけたら嬉しい。</p> <p>配布は利用開始時にしてお り、「そこまで考えたことが なかった」「今はまだイメー ジできない」という声が多 い。</p> <p>傾向を掴みやすくするため に次年度は統計をとってみ たい。</p>	
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	○				<p>・利用者、家族だけでなく地域との繋がりや前項にもあるように看取り支援など「地域力」を底上げする重要な役割を担っていると感じます。</p> <p>↓</p> <p>地域包括ケアシステムの推進に向け職員一人ひとりが意識して取り組むことができるよう、その役割や目標</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				<p>・特定の箇所に限定せず、広い範囲で利用者受入れをされています。</p> <p>・エリア外になるかもしれないが「まず相談だけでもしてみよう」と思える魅力が貴施設にはあると感じます。無理のない範囲で今後も他エリアの受け入れについても検討していただけると多くの方の力になると感じます。</p> <p>↓</p> <p>サービス提供範囲を限定することなく、一人でも多くの方から看多機サービスを利用いただけるように事業展開していきたい。</p>	<p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</p> <p>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			<p>・限られた機会ではありましたが、効果的に活用できるように努められていました。</p> <p>・運営推進会議では、地域住民や地域に根ざした施設の視点でないと気づけないような課題が話題にあがり、良い話し合いが持たれているように感じます。</p> <p>感染状況にも応じますが、来年度もこのような機会が持てるよう計画していただきたいです。</p> <p>↓</p> <p>地域の皆様との意見交換を通じて地域課題をまずは共有することが非常に大切なことかと考えている。貴重な運営推進会議の場がより効果的なものとなるよう、可能な限り対面で活発な意見交換を行っていきたい。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○		<p>・地域に向けた今後の取り組み強化に期待します。</p> <p>・感染状況に応じながら是非多くの取り組みが成される事を期待します。</p> <p>↓ 番号 33 同様。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・家族に対しては介護、看護（医療面）に関する情報提供や手技の指導などを行うことはできていると思われるが、地域に向けては活動機会が少なかった分、十分行えたとは考えていない。感染状況をみながら活動を再開し、地域の介護力向上に向けた取り組みを展開していきたい。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・他職種、他事業所とでしっかり連携しながら目標達成できるよう、それぞれの役割を明確にし取り組んでいきたい。</p>	<p>・引き続き、利用者、家族、地域支援者それぞれの強みを活かした取り組みによる、目標の達成に期待します。</p> <p>・今後も事業所内外で連携しながらより良いサービス提供を継続してください。</p> <p>↓</p> <p>番号1同様。</p>	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・満足度調査の結果から安心感が得られているものと思われる。現状に満足することなく、今後も安心した暮らしが継続できるよう責任あるケア、丁寧なケアを</p>	<p>・現状に満足することなく、向上心を持って取り組まれており、評価できる点だと考えます。</p> <p>今後の取組みにも期待します。</p> <p>・在宅生活における医療行為は利用者や家族にとってハードルの高いものであると考えますが、職員皆</p>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		提供していきたい。	<p>さんの関わりによって医療ニーズが高い利用者とその家族が安心して在宅生活が送れるよう状況に応じた柔軟なケアを継続してください。</p> <p>・満足度調査の結果を確認した際、ご利用者一人ひとりに対して、丁寧なケアをされていることが十分に伝わりました。ご利用者やご家族の安心に繋がる為、継続して頂きたいです。</p> <p>↓</p> <p>番号 19 同様。</p>	
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・現在はそのような状態の方はいませんが、準備ができていることをしっかりと</p>	<p>・在宅看取りは病院・施設などで感染症対応が必要な状況下であることや、地域包括ケアの観点からもそのニーズが増加するように感じます。実際にそのような場面に直面したとき、利用者や家族だけでなく病院や施設なども含め</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>適切なタイミングで伝えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お元気うちからターミナル期を意識してもらえるようにわたしの「望む暮らし」の配布を継続していく。 	<p>検討や相談していける体制と一緒に構築して行ってほしいと考えます。</p> <p>↓</p> <p>看取りを希望される本人、家族が当事業所サービスに関わることで少しでも安心できるよう介護・看護との一体的支援、他機関との協働を密に行っていききたい。</p>	<p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>